

暖簾=のれん のれん～雑学あれこれ

”のれん”と言えば「豆腐に銚(かすがい), 暖簾に腕押し」・・・

慣用句に使われるほど、古くから私たちの生活になじみのある暖簾が、最初に登場したのが平安時代末期と言われています。その頃は主に寒さよけに使われており、「暖簾(暖かいすだれ)」という漢字が使われるようになりました。室町時代に入り、のれんに家紋を入れて商売用として使われ始め、現在のように文字が入られるようになったのは、江戸時代初期の頃になります。(この頃から識字率が上がってきたことが影響していると言われています)。

「暖簾を・・・分ける・守る・上げる・下ろす・畳む・受け継ぐ」など、商売の「母体」を象徴する言葉として使われますが、同じような意味の「看板」より、「商いの精神」や、「お店の identity」といった、「心」を表現しているように思います。

① 種類

水引暖簾・日除け暖簾(太鼓暖簾)・半暖簾*・長暖簾*・鯨暖簾・絵暖簾・花嫁暖簾(加賀暖簾)・縄暖簾・玉暖簾 など

※[半暖簾・長暖簾] = 鯨尺の三尺、113 cm丈の暖簾のことを鯨暖簾といい、暖簾の定尺とされてきました。これよりも短いものを半暖簾、長いものを長暖簾といいます。



水引暖簾



日除け暖簾



半暖簾



長暖簾(上部は水引暖簾)

② 機能

風除け・日除け・目隠し・空間の間仕切り・壁面装飾 など

③ 用途

看板・宣伝(メッセージ・アイキャッチ)・和のイメージ演出・記念品・プレゼント・土産 など

④ 素材

木綿・麻・絹・ポリエステル・縄・木・ガラスビーズ・網 など

⑤ 染色

本染め(京友禅、柿渋、墨、漆、貝)・顔料プリント・昇華転写・箔 など

⑥ 加工

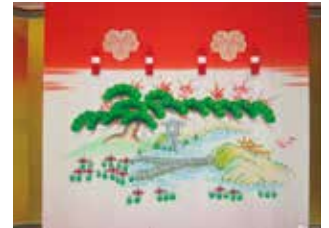
型染め・引き染め・絞り染め・ろうけつ染め・抜染・手描き・ハンドプリント・デジタルプリント・刺繍・パッチワーク・アップリケ・オパール など

⑦ お勧めのデザイン要素

商標(ロゴマーク)・屋号・店名・家名・家紋・商材や季節のイラスト・キャッチコピー



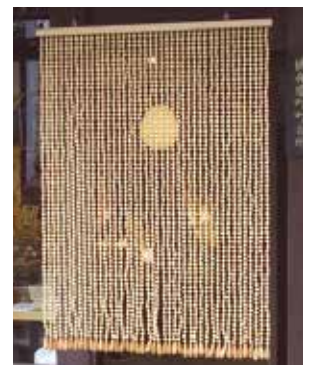
絵暖簾



花嫁暖簾(加賀暖簾)



縄暖簾



玉暖簾

皆さんはどのお店で食事をするか迷っている時に、入口に掛っている暖簾の印象の良さでそのお店に決める事はございませんか？入り口に掛けられた暖簾は、単に外と内を仕切るだけではなく、その店の中にある“心”を表しています。

暖簾は、玄関・軒先・店部屋や厨房の出入口の間仕切りはもちろん、商品棚の日除け、壁面装飾、仏間や寝室などのプライベート空間との間仕切りと色々な場所で使えます。また、季節やイベント・商材に合わせて手軽に交換出来き、空間のイメージ作りに最適です。

暖簾・幕・のぼり等のお話しがございましたら、是非ともご用命下さいませ。

www.the.kyoto.jp

一宮株式会社

〒615-8174 京都市西京区榎原中垣外7-1
TEL075-394-7011(代) FAX075-394-7022